



いずみ野

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/izumino/>



実りの秋 ～前期から後期に学びのバトンを～

校長 齋藤 敦子

いずみ野小学校の田んぼや畑は実りの秋を迎えています。稲刈りやいもほりは収穫、学び隊の野菜づくりは冬野菜の準備と楽しみな活動が近づいてきました。夏休み明けから分散登校が続き、全校の子どもたちが揃う日を心待ちにしているところです。前期もあと少しとなり令和3年度も折り返し地点にたどり着きました。ご家庭におかれましては、毎日の健康観察や端末の管理、感染対策への持ち物のご準備にご協力をいただきありがとうございます。



中休み：校庭で元気いっぱい遊ぶ子どもたち！

さて、9月の授業参観・懇談会が見送りになりましたので、「あゆみ」に取り入れる評価の「観点」についてお伝えしたいと思います。昨年度から小学校では新学習指導要領が完全実施され、新たな教育がはじまっています。受動的にただ言われたことを学ぶのではなく、主体的（〇〇したい）に学習に取り組む態度も含めた学ぶ力を子どもたち一人ひとりが身に付けていくことを目指しています。

令和元年度までは4観点、5観点あった観点が3観点①「知識・技能」②「思考・判断・表現」③「主体的に学習に取り組む態度」にまとめられました。「主体的に学習に取り組む態度」の観点が以前の「関心・意欲・態度」と異なっています。キーワードとしては、「粘り強い取組を行おうとする」や「自らの学習を調整しようとする」があげられます。その教科の学習が好きで、意欲的に取り組み、挙手して発表したり、ノートを丁寧にまとめたりするだけでは到達したことにはならず、さらに深い部分を見ていきます。各教科の内容を理解するために、「いかに調整して、知識を習得するために試行錯誤しているか」という部分を評価していくことになります。自ら主体的に学びを工夫して計画をしたり、学んで得たことを自分の生き方や社会に生かしていこうとしたりしているか等も見ていきます。

子どもたち一人ひとりが前期の自分の成長を振り返り、後期のめあてにしっかりとバトンが受け継がれ、子どもたちが「〇〇したい！」と思えるような取組を続けてまいります。緊急事態宣言が解除されましたが、コロナ禍で学校は諸行事が続く時期を迎えます。運動会や宿泊行事などにつきましても、随時検討を進めております。横浜市教育委員会のガイドラインに基づき、可能な限り実現に向けて努力する一方で、判断については速やかにお伝えしていきます。引き続き、三密回避、換気、消毒を徹底してまいります。ご家庭におかれましても、お子さんとご家族の健康観察を丁寧に続けていただきたいと思います。少しでもご家族の方に体調不良が見られた場合には、登校をお控えいただきますようお願いいたします。その際は出席を要しない日として、欠席扱いにはなりませんので今後ともご理解とご協力をお願いいたします。